

令和5年2月3日
国土交通省中部地方整備局
沼津河川国道事務所

記者発表資料

E70 伊豆縦貫自動車道 国道414号**河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝IC～河津逆川IC間が
2023年3月19日（日）15時に開通します！**

1. 概要

伊豆縦貫自動車道 国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝IC～河津逆川IC間が
2023年3月19日（日）15時に開通しますのでお知らせします。

また、開通に先立ち「開通式典」および「鉄入れ式・通り初め」を以下のとおり執り行いますので
お知らせします。

〈日時・場所〉

2023年3月19日（日）10時00分～ ※雨天決行

開通式典 : 河津町立河津中学校体育館

鉄入れ式・通り初め : 河津七滝IC内

主 催 : 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路
開通式実行委員会



鉄入れ式（イメージ）

沼津河川国道事務所・静岡県

伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会

伊豆縦貫自動車道「河津下田道路」及びアクセス道路建設促進期成同盟会

〈内容〉

開通式典 : 主催挨拶、来賓祝辞など

鉄入れ式・通り初め : 鉄入れ、くす玉開披、通り初めなど

〈取材について〉

取材にお越し頂く報道関係者様におかれましては、お手数ですが3月10日（金）までに
別紙5「取材申込書」にて、ご連絡頂きますようお願い致します。※
申し込みを頂いた後に、折り返し、お車の駐車場等のご案内を送付致します。

〈その他〉

時間、内容については天候などにより変更となる場合があります。

※取材にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策（マスク着用、手指消毒、人と人の距離の確保等）の徹底
にご協力をお願いいたします。また、発熱などの症状がある場合は参加をご遠慮願います。
新型コロナウイルス感染の状況により、本式典の取扱について変更する場合があります。

2. 配布先 : 静岡県政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ、下田記者クラブ

3. 問合せ先 : 〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2

国土交通省 中部地方整備局

沼津河川国道事務所 副所長(道路) 中川 晋吾

計画課長 野本 高視

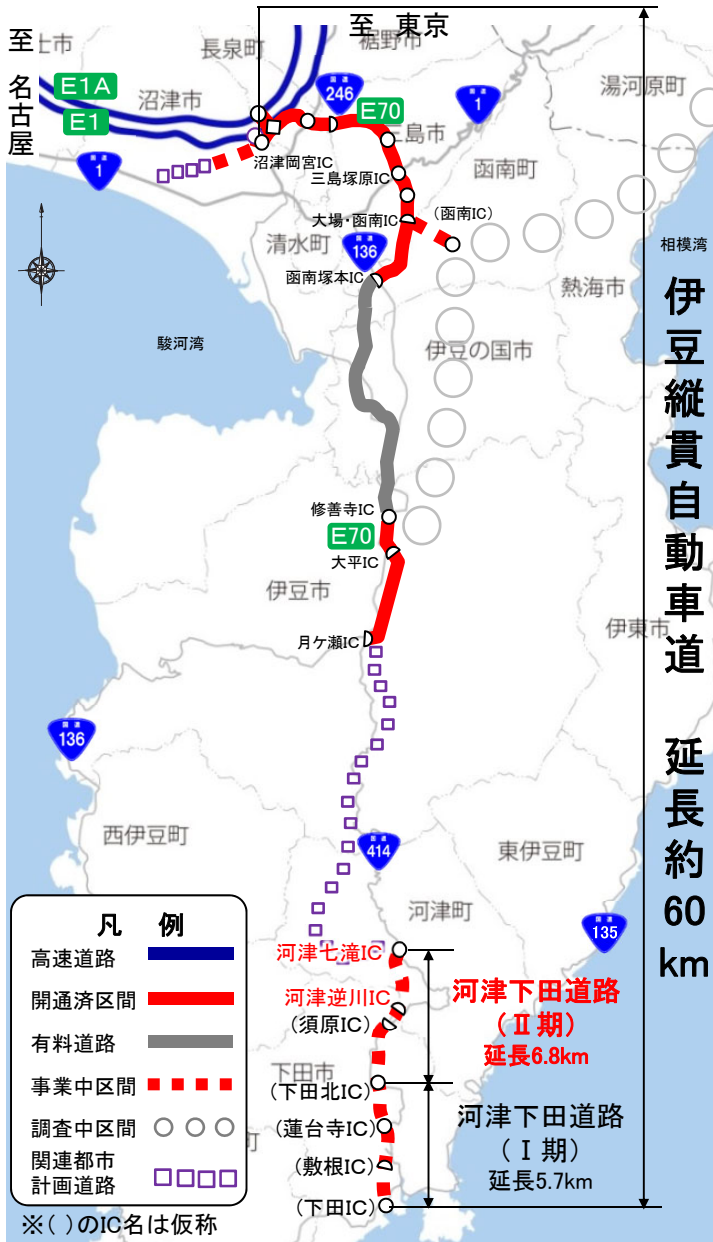
TEL 055-934-2010

Mail cbr-nmz-tyouni@mlit.go.jp

開通区間の概要

- 河津下田道路(Ⅱ期)は、延長約60kmの伊豆縦貫自動車道の一部であり、静岡県賀茂郡河津町から静岡県下田市を通る延長6.8kmの道路です。
- 今回、河津下田道路(Ⅱ期)の一部である河津七滝IC～河津逆川IC間の延長3.0kmが開通します。

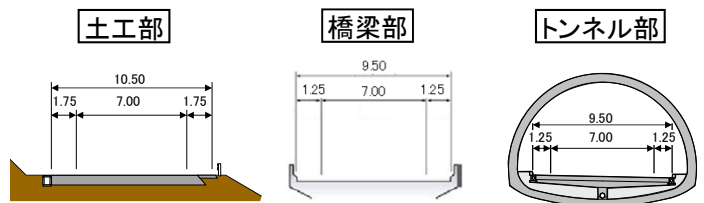
■全体図 伊豆縦貫自動車道



■拡大図 河津下田道路(Ⅱ期)



■標準断面図



[写真①] 河津七滝IC付近



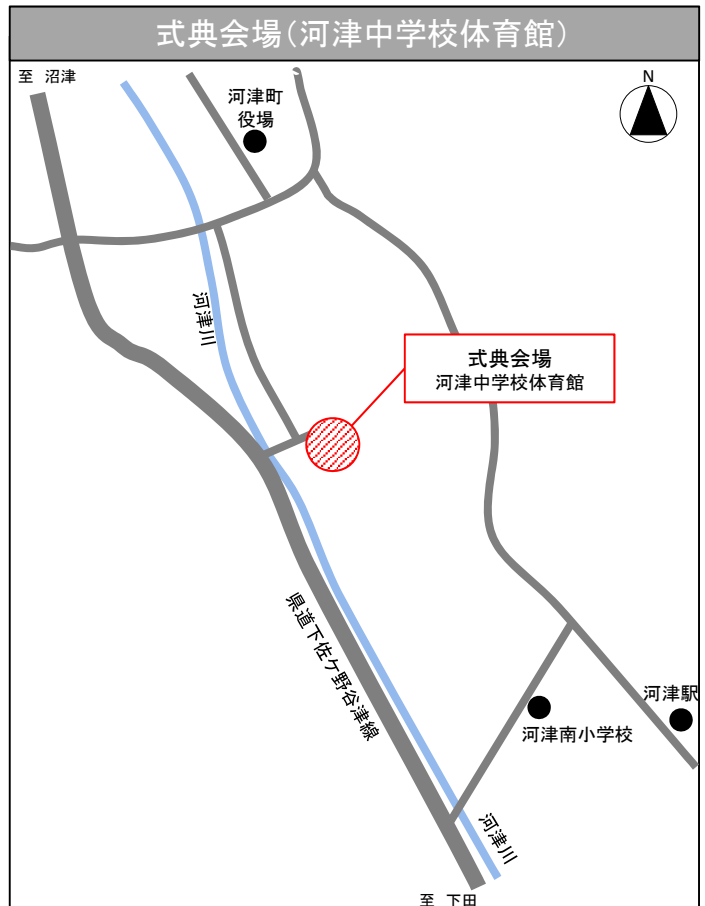
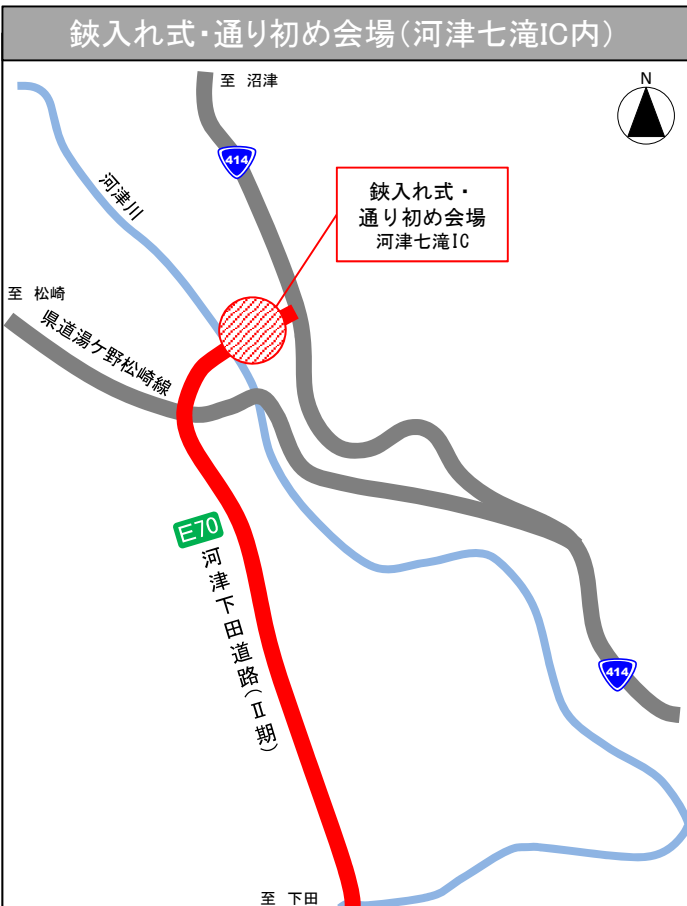
[写真②] 河津逆川IC付近



開通式典、鉄入れ式・通り初め会場案内図

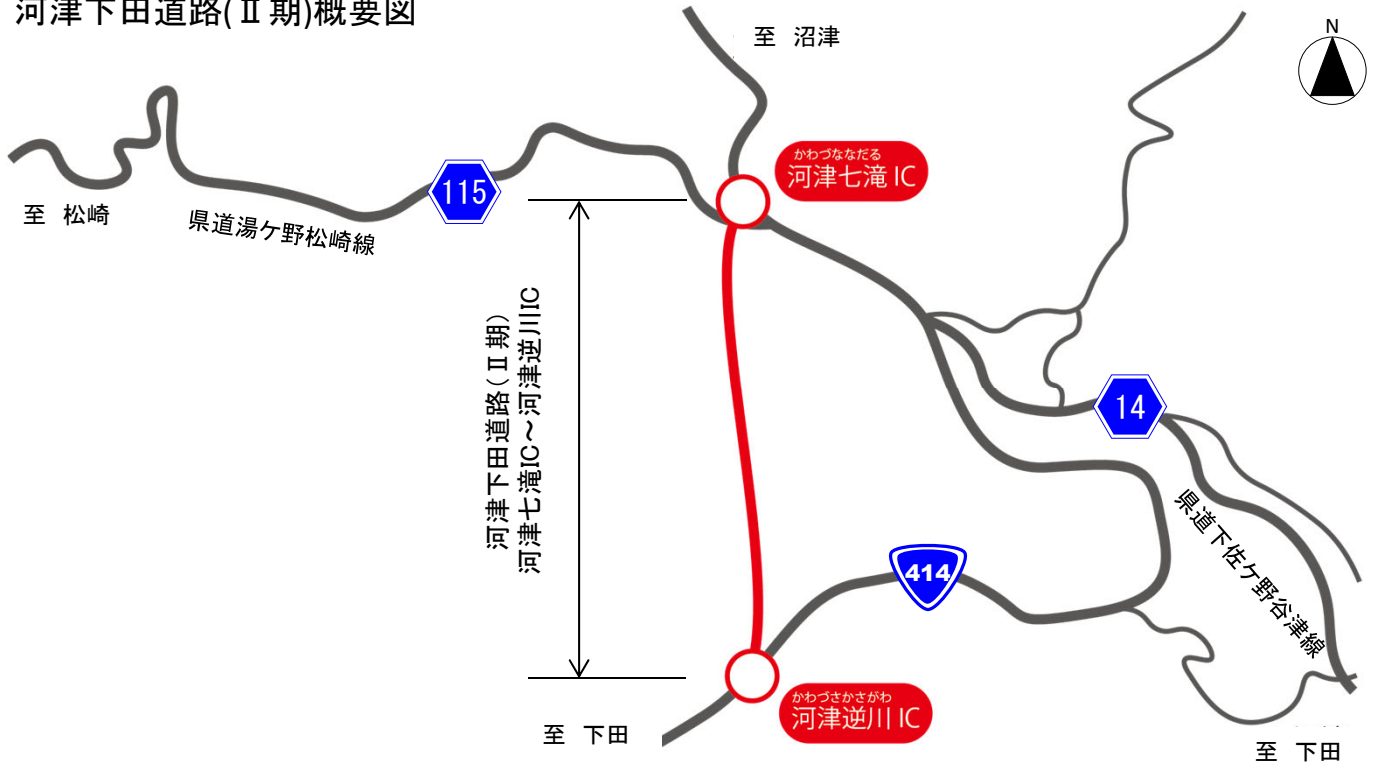
別紙2

- 主 催 : 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路 開通式実行委員会
 (沼津河川国道事務所・静岡県・伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会
 伊豆縦貫自動車道「河津下田道路」及びアクセス道路建設促進期成同盟会)
- 日 時 : 2023年3月19日(日)10時00分～ ※雨天決行
- 開 通 式 典 : 河津町立河津中学校体育館(静岡県賀茂郡河津町田中72-1)
- 鉄入れ式・通り初め: 河津下田道路(Ⅱ期) 河津七滝IC内



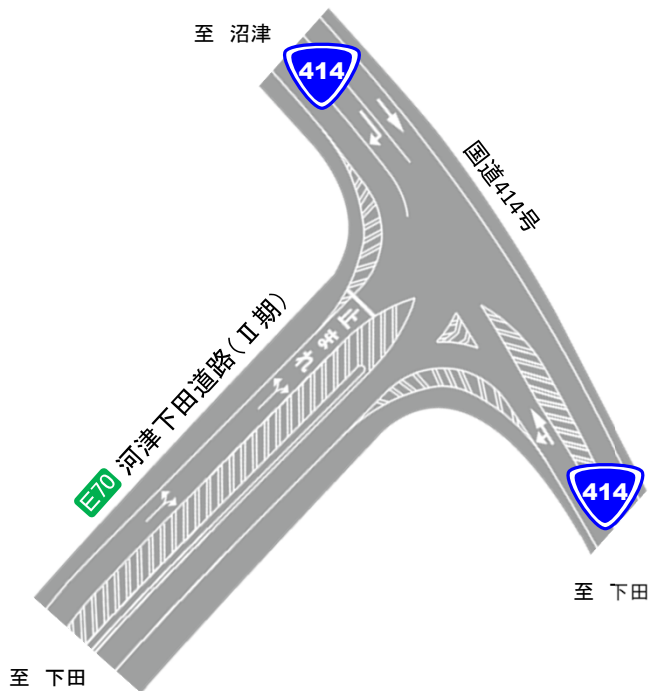
■河津下田道路（Ⅱ期）の開通により、国道414号の通行形態が変わります。ご注意ください。

河津下田道路（Ⅱ期）概要図



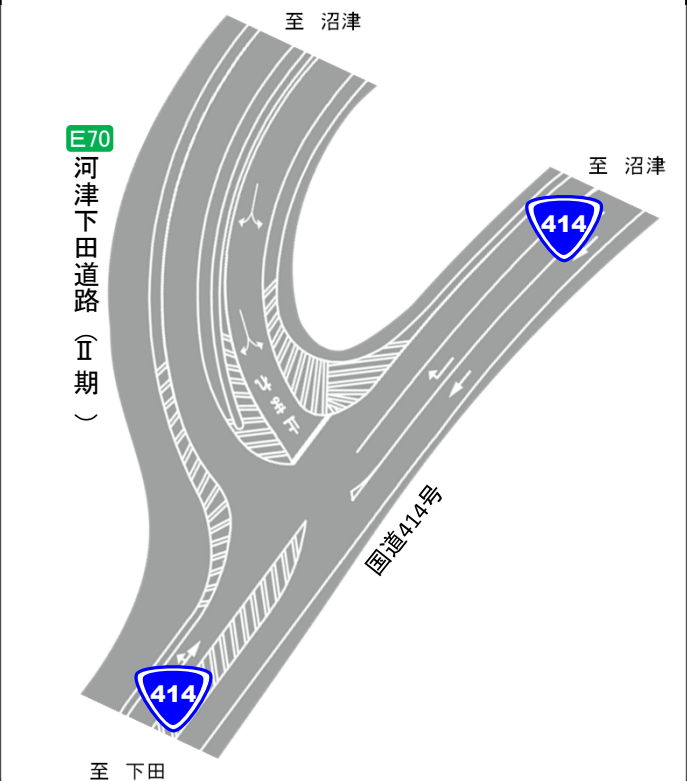
【河津七滝IC】

○河津下田道路（Ⅱ期）の開通により
国道414号現道の通行経路が
変更になります

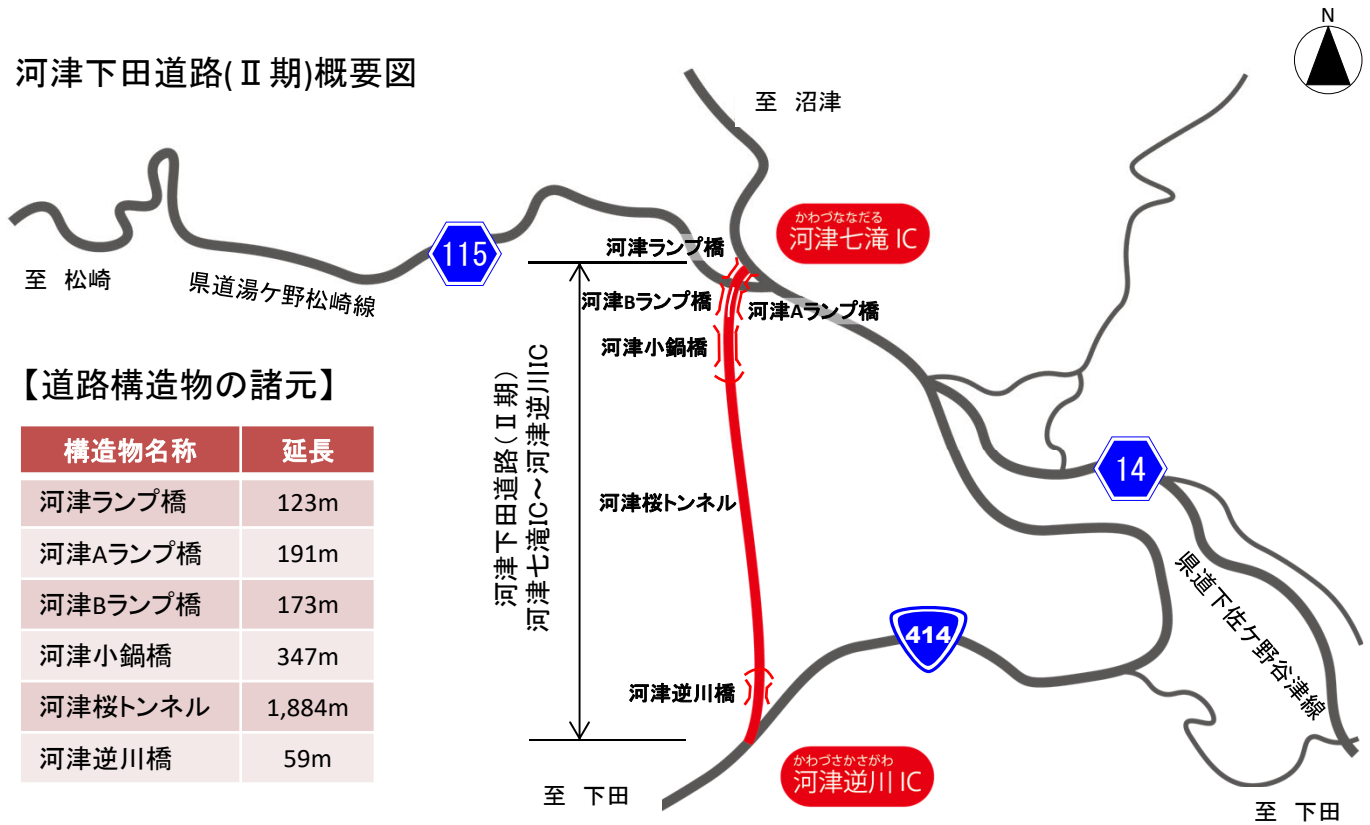


【河津逆川IC】

○河津下田道路（Ⅱ期）の開通により
国道414号現道が丁字交差点となります



河津下田道路(Ⅱ期)概要図



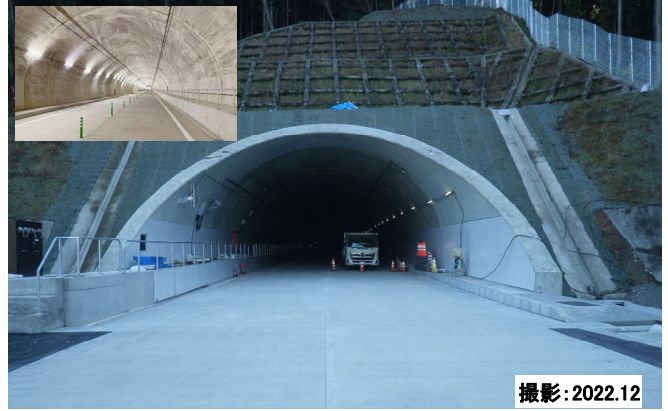
【道路構造物の諸元】

構造物名称	延長
河津ランプ橋	123m
河津Aランプ橋	191m
河津Bランプ橋	173m
河津小鍋橋	347m
河津桜トンネル	1,884m
河津逆川橋	59m

かわづ きょう
【河津ランプ橋】



かわづ さくら
【河津桜トンネル】



かわづ こなべ ばし
【河津小鍋橋】



かわづ さかさかわ ばし
【河津逆川橋】



Mail: cbr-nmz-tyouni@mlit.go.jp

(沼津河川国道事務所 計画課)

伊豆縦貫自動車道 国道414号

河津下田道路(Ⅱ期)

開通式典、鋏入れ式・通り初め取材申込書

〈〈申込期限:2023年3月10日(金) 17:00まで〉〉

貴社名	
氏名(代表者)	
連絡先	電話番号()
当日連絡が取れる連絡先 (携帯電話)	
メールアドレス	

■取材の希望内容について

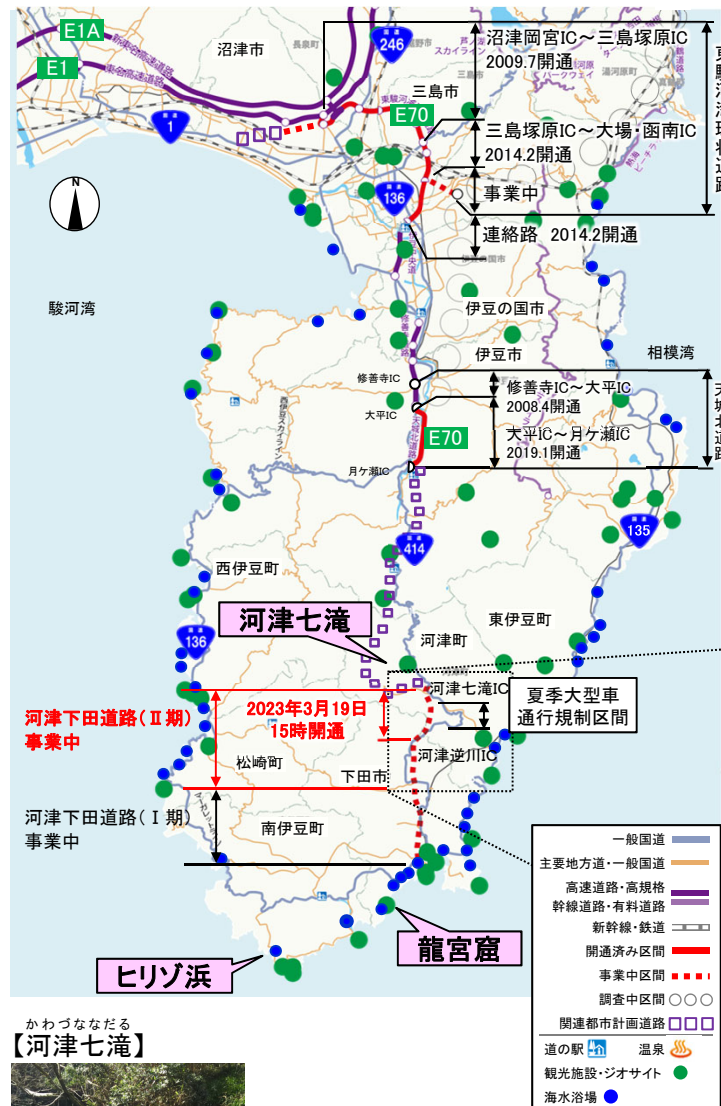
取材人数	人	
駐車車両	車種:	
中継車配置の希望	開通式典	・希望(車種:) ・希望なし
	鋏入れ式・通り初め	・希望(車種:) ・希望なし

※注意事項

- ・報道関係者であることが分かるよう腕章または名札の着用をお願いいたします。
- ・参加者多数の場合、人数の調整をお願いする場合があります。
- ・お車でお越しの方には、折り返し「駐車証」を送付させていただきます。
- ・駐車台数は会場の都合により、原則として1社1台でお願いいたします。
- ・中継車などの放送機材車両の駐車が必要な場合には、上記にご記入ください。
- ・当日はお時間にゆとりをもってお越しください。
- ・会場間の移動は専用バスにご乗車いただきます。通り初め終了まで式典会場(駐車場)へはお戻りになれません。(13時頃帰着予定)

いず
■伊豆地域は多くの観光資源を有しており、年間約4,000万人の観光客が訪れます。
 かわづ しもだ
■河津下田道路(Ⅱ期) (河津七滝IC~河津逆川IC)の整備により、夏期大型車通行規制区間の
 かわづ ななだる かわづ さかさかわ
 迂回解消及び約13分の時間短縮が図られるなど、伊豆地域の観光活性化を支援します。

■伊豆地域の観光施設



かわづななだる
【河津七滝】



【河津七滝とは】

河津町には数々の滝が存在し、特に有名どころの七つの滝が「河津七滝」と呼ばれています。
 「伊豆の踊り子」の舞台となっている河津七滝(初景滝)には「踊り子と私」の銅像があります。

【ヒリゾ浜】



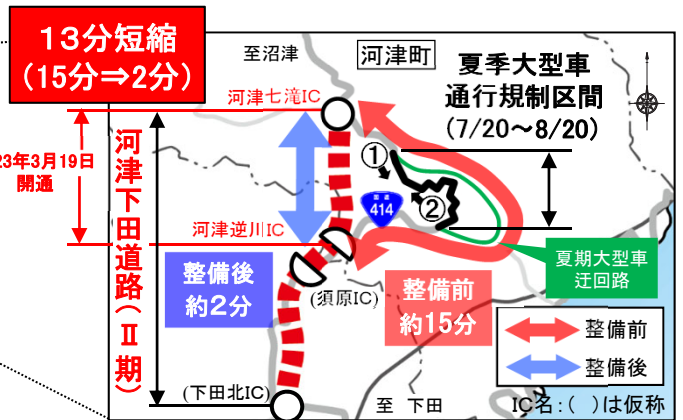
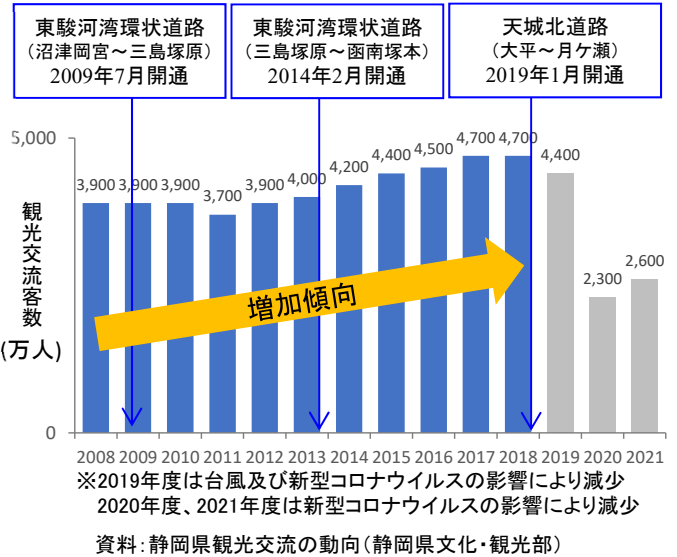
出典: 南伊豆町観光協会

りゅうくうくつ
【龍宮窟】



出典: 下田市

■伊豆地域の観光交流客数の推移



※整備前: ETC2.0プローブ情報 2022年8月休日平均の最大所要時間(10時台) 町道(30km/h)を用いて算出
 整備後: ETC2.0プローブ情報 2022年8月休日平均(10時台) 河津下田道路の開通予定区間のみ設計速度(80km/h)として算出

写真①大型車すれ違い状況



写真②大型車のすれ違い状況

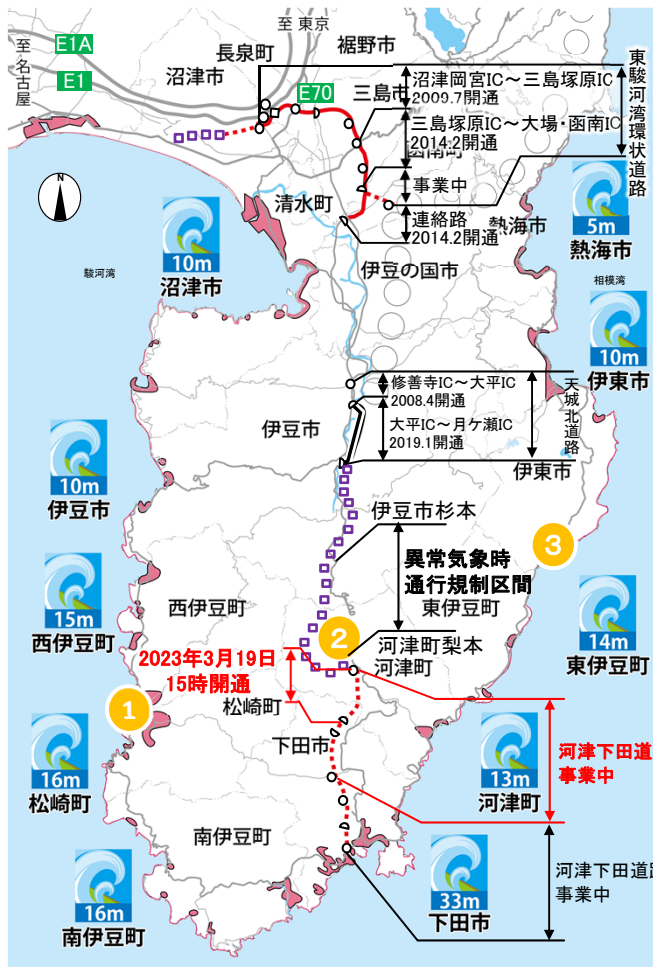


河津下田道路(Ⅱ期)の並行現道は、急なカーブが多く道幅が狭いため、対向車とのすれ違いが困難であり、別の経路を利用しています。河津下田道路の整備は、走行性の向上や時間短縮等が期待されます。



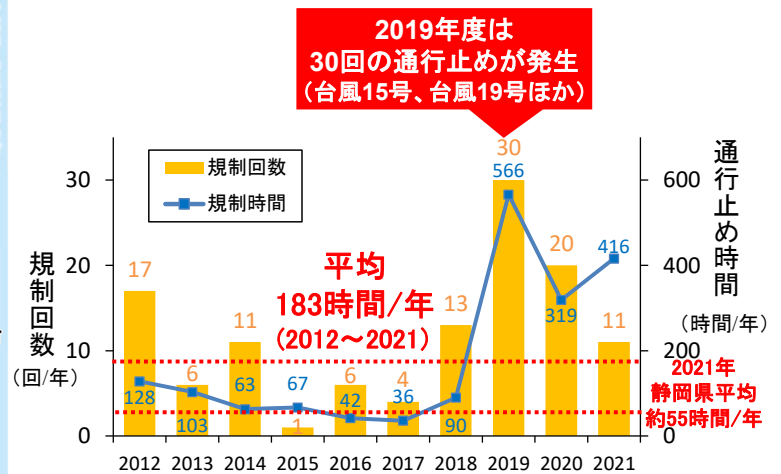
- 伊豆地域の太平洋沿岸部は、南海トラフ地震発生時に津波浸水被害が想定される地域です。
- 近年の台風や大雨により、沿岸部や内陸部の国道が被災しており、平均約183時間の通行止めが発生しており、河津下田道路(Ⅱ期)の並行区間である国道414号も法面崩壊等による通行止めが発生しています。
- 河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、東名・新東名高速道路から広域的な災害に強い救命・救急ルートを確認することで、災害時の緊急輸送道路として迅速な活動を支援します。

伊豆半島の津波浸水想定

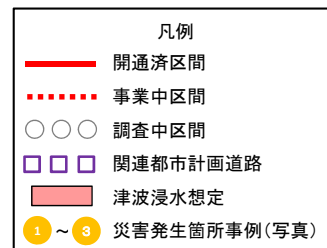


伊豆地域の通行止め実績

(国道135号、国道136号、国道414号※)

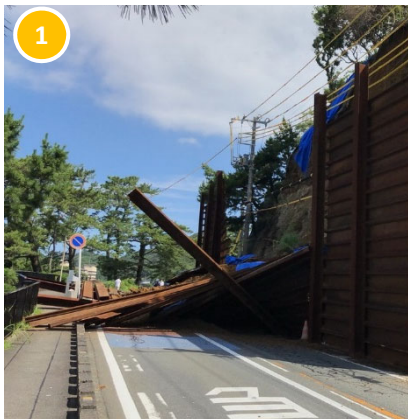


出典: 静岡県通行規制実績(沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所)
※国道414号は旧道除く

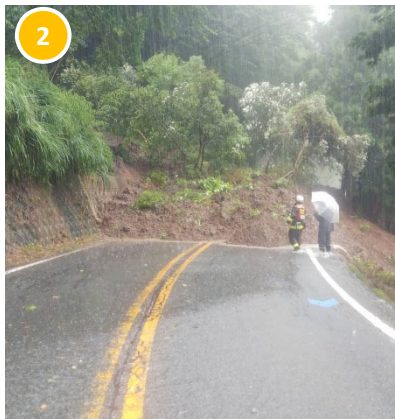


出典: 津波高 静岡県第4次地震被害想定 レベル2
南海トラフ巨大地震の最大津波高さ(2015.1)
: 津波浸水想定 静岡県(2020.3)

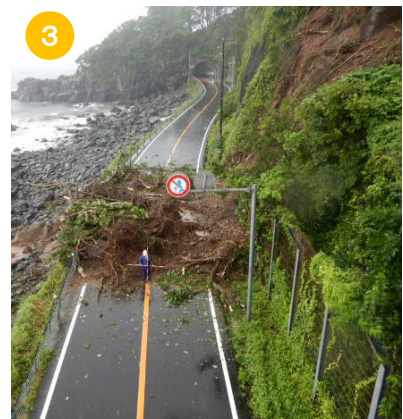
台風、大雨等による伊豆南部の法面被災状況



【国道136号 法面崩壊】
(2020.7 西伊豆町仁科)



【国道414号 法面崩壊】
(2021.7 河津町梨本)



【国道135号 法面崩壊】
(2020.7 伊東市赤沢)

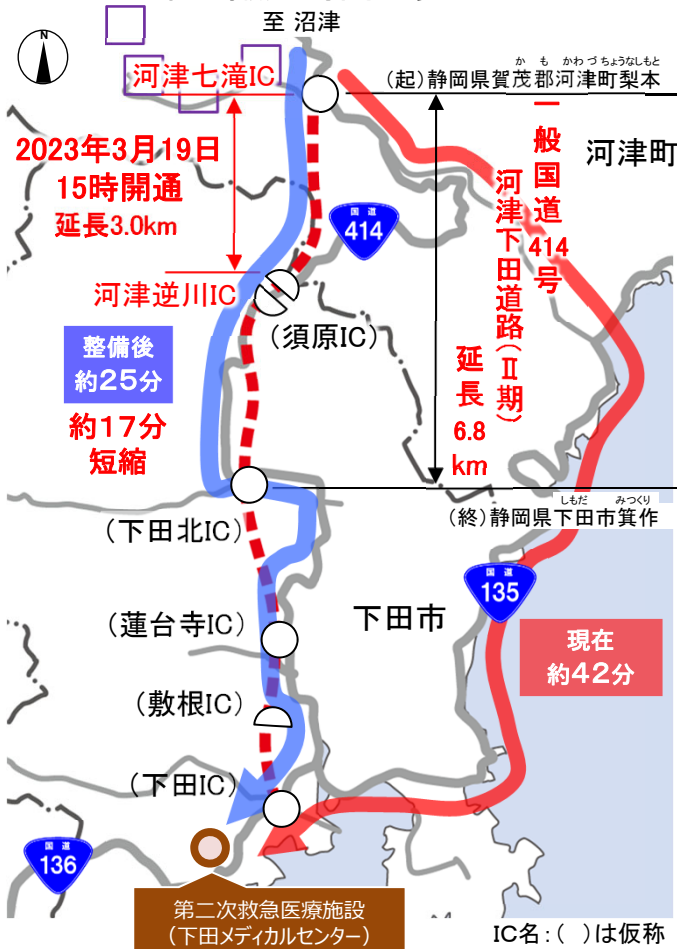
救命率の向上

参考3

■国道414号は幅員が狭小で、急カーブ等があるため、河津町から下田市にある第二次救急医療施設に搬送する際は国道135号を使用していますが、夏季観光期は混雑しており、約42分かけて搬送しています。

■河津下田道路(Ⅱ期)(河津七滝IC~河津逆川IC)の整備により、国道414号を搬送経路に選択することが可能となり、河津町から下田メディカルセンターまで約17分の時間短縮が図られ、救命率の向上に寄与します。さらに、30分以内に搬送可能な圏域が最大約1.2倍拡大します。

■夏季観光期における下田メディカルセンターまでの緊急搬送時間の変化



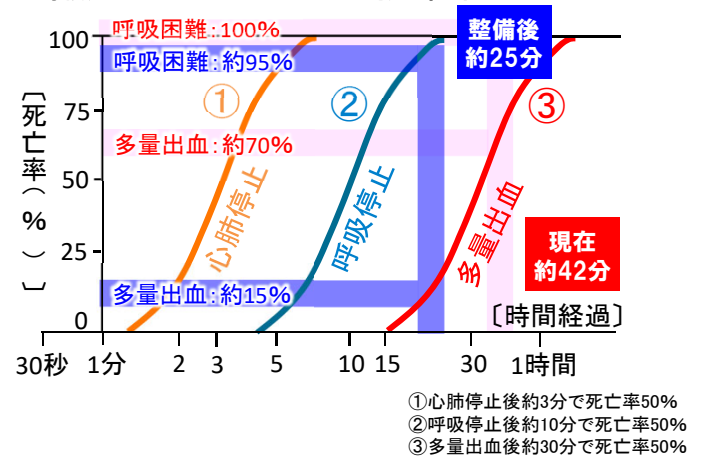
※現在:河津七滝IC~下田メディカルセンターへの搬送時間
ETC2.0プローブ情報 2022年8月休日平均の最大所要時間(10時台)
整備後:河津七滝IC~下田メディカルセンターへの搬送時間
ETC2.0プローブ情報 2022年8月休日平均(10時台)
河津下田道路の開通予定区間のみ設計速度(80km/h)として算出

■第二次救急医療施設への搬送時間 30分圏域が拡大



整備前:平成27年全国道路・街路交通情勢調査より算出
整備後:河津下田道路の開通予定区間のみ設計速度(80km/h)として算出

■搬送時間短縮による救命率の向上



下田メディカルセンター

・幅員が狭小で、急カーブ・急勾配区間が多い国道414号は、患者さんへの負担が大きいので、国道135号を利用して緊急搬送を行っています。しかし、夏場の観光期は、国道135号が渋滞するため、病院への到着時間が読めない状況です。

・河津下田道路(Ⅱ期)河津七滝IC~河津逆川IC間の開通により、急カーブ・急勾配区間が回避でき、所要時間も短縮することから、国道414号が搬送経路の新たな選択肢となります。

・下田市から伊豆の国市の第三次医療施設へ搬送する場合、現在は往復約3時間かかりますが、開通区間を利用すれば、2時間余りで往復が可能となり、次の患者さんへの対応が迅速に行えるとともに、救急隊にとっても非常に負担減となります。

出典:下田消防本部へのヒアリング結果(2022年12月)

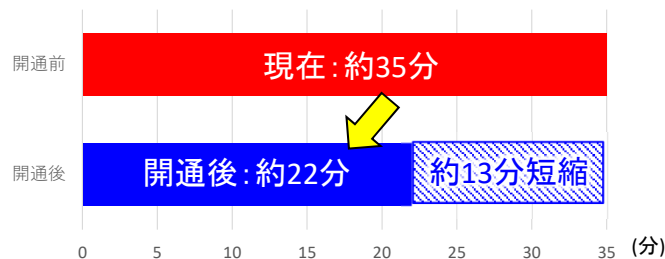


- 国道414号の一部区間は幅員が狭く、急カーブが連続しており、また、夏季は大型車の通行規制区間があり、大幅な迂回が必要です。
- 河津下田道路(Ⅱ期) (河津七滝IC~河津逆川IC)の整備により、国道414号の夏季通行規制区間を回避可能となり、また所要時間が約13分短縮します。

河津下田道路(Ⅱ期)開通前後の所要時間変化



【所要時間の変化】



※現 在:ETC2.0プローブ情報 2022年8月休日平均の最大所要時間(10時台) 町道(30km/h)を用いて算出
 整備後:ETC2.0プローブ情報 2022年8月休日平均(10時台) 河津下田道路の開通予定区間のみ設計速度(80km/h)として算出

【国道迂回路の状況】

【写真①】夏季通行規制区間:狭小・急カーブ区間



【写真②】夏季大型車迂回路:狭小・急カーブ区間



沼津方面へ移動する際、国道414号を使用することがありますが、河津町内の国道414号は一部区間で幅員が狭小かつ急カーブとなっており、安全性が低い状況にあります。

河津下田道路(Ⅱ期)が部分開通すれば、国道414号現道の狭小かつ急カーブ区間を通行する必要がなくなり、所要時間の短縮と、安全性の向上が期待されます。

出典:下田市ヒアリング(2021年12月)

これまで沼津方面に鮮魚を輸送する場合、道幅が狭く線形が厳しい国道414号の区間を通過していましたが、河津下田道路(Ⅱ期)の開通により回避することができれば、沼津方面への鮮魚の輸送時間が大きく短縮されます。

この短縮により、今まで輸送できなかった山梨県や西日本方面の地方市場への出荷が期待でき、大きなメリットと考えています。

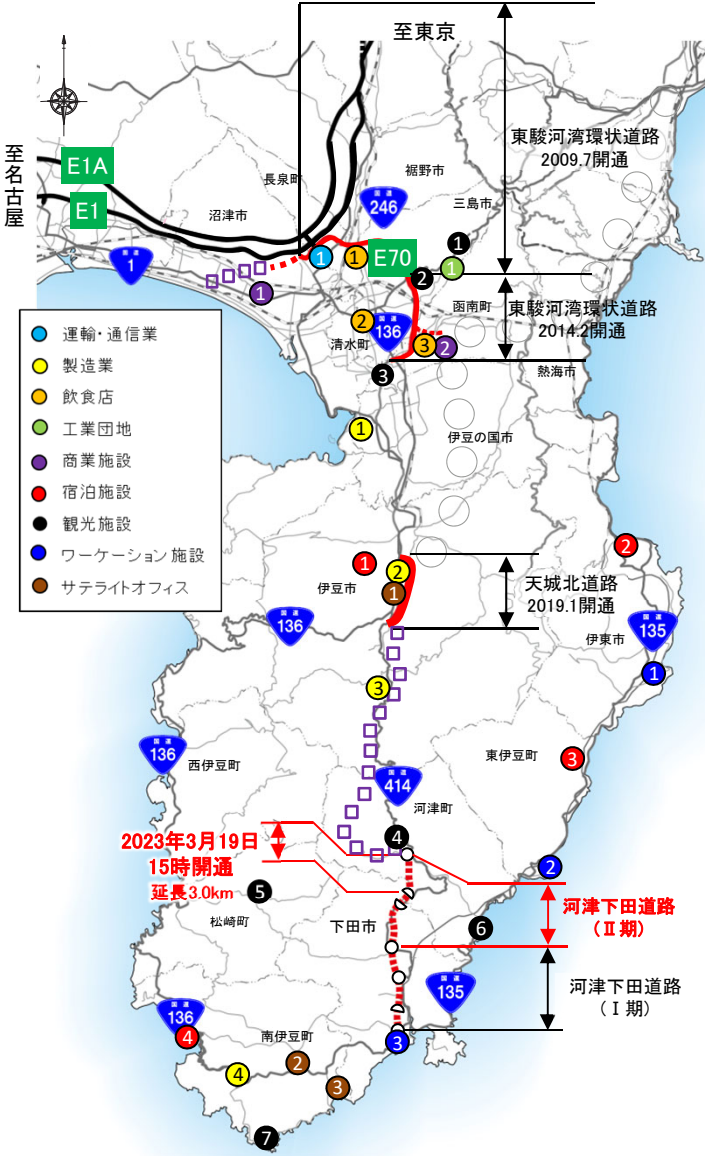
出典:伊豆漁協協同組合ヒアリング(2021年12月)

【観光・産業】新規企業進出を下支え

参考5

- 伊豆縦貫自動車道の開通とともに沿線に新規観光施設や飲食施設、企業が進出しています。
- 伊豆縦貫自動車道の整備により、時間短縮や利便性が向上し、今後も新たな施設・企業の進出が期待されるとともに、伊豆半島南部への新規企業進出を後押しします。

■伊豆縦貫自動車道沿線の新規企業



ジャンル	No.	名称	開業・操業年月
運輸・通信業	1	イオン長泉ロジスティクスセンター	2015.9
	1	白井国際産業株式会社	2021.8
製造業	1	イハラサイエンス株式会社	2020
	2	ベアード・ブルワリーガーデン修善寺	2014.6
	3	東京ラスク伊豆ファクトリー	2011.6
	4	(株)タカラゲン 南伊豆工場	2019.12
飲食店	1	さわやか長泉店	2016.12
	2	スターバックスコーヒー	2016.9
	3	さわやか函南店	2018.11
工業団地	1	三ツ谷工業団地	2019
商業施設	1	三井ショッピングパークららぽーと沼津	2019.10
	2	函南町平井複合商業施設	2020
宿泊施設	1	伊豆マリオットホテル修善寺	2017.7
	2	星野リゾート界アジアン (リニューアル)	2017
	3	伊豆ホテルリゾート & スパ	2020.6
	4	JU-ZA CYCLE YADO Minamiizu	2021.10
観光施設	1	三島スカイウォーク	2015.12
	2	伊豆フルーツパーク	2013.1
	3	かねふくめんたいパーク伊豆	2018.12
	4	kawazoo	2018.8
	5	大沢温泉 依田之庄	2020.12
	6	Izoo	2012.12
	7	石廊崎オーシャンパーク	2019.4
ワーケーション施設	1	エクレアホール	2022.5
	2	EAST DOCK	2019.5
	3	WORK×ation Site 伊豆下田	2021.7
サテライトオフィス	1	伊豆市サテライトオフィス狩野ベース (3社進出)	2020
	2	SENA(株)	2020.7
	3	旧杉並区職員宿舎 (4社進出)	2022

出典：自治体ヒアリング結果(2009年以降新規開業・リニューアルした施設)

【③ WORK×ation Site 伊豆下田】

下田市に建つ旧樋村医院をリノベーションし、ワーケーションオフィスとしてオープンしました。現在は関東方面の企業の方の利用が多くなっています。

河津下田道路の開通により、自動車での移動がスムーズとなることで、関東方面以外からの利用者増加も期待されます。また、移動がスムーズとなることで、観光周遊がしやすくなり、より充実したワーケーションを体験してもらえるようになります。



出典：下田市提供
出典：下田市ヒアリング結果(2022年12月)

【⑦ 石廊崎オーシャンパーク】

東駿河湾環状道路や天城北道路の整備により、伊豆半島南部への来訪がしやすくなったことを受け、2019年4月に伊豆半島最南端にオープンしました。

河津下田道路の開通により、南伊豆町に来やすくなり、来訪者がさらに増加することを期待しています。



出典：南伊豆町提供

出典：石廊崎オーシャンパークヒアリング結果(2022年12月)

【⑧ 旧杉並区職員宿舎】

現在、4社がサテライトオフィスを開設しています。多くの企業が関東方面に本社があるため、都心からのアクセス向上が求められていると感じています。

河津下田道路の開通により、関東方面からのアクセス向上に加え、関東方面以外からの利用者が増加することを期待しています。



出典：南伊豆町提供

出典：南伊豆町ヒアリング結果(2022年12月)

南伊豆町は製造業系の企業が無く、観光と第一次産業が主体ですが、河津下田道路が全線開通すれば、沼津方面への利便性も高まることから、製造企業の進出を期待しています。

出典：南伊豆町ヒアリング結果(2021年12月)

伊豆半島

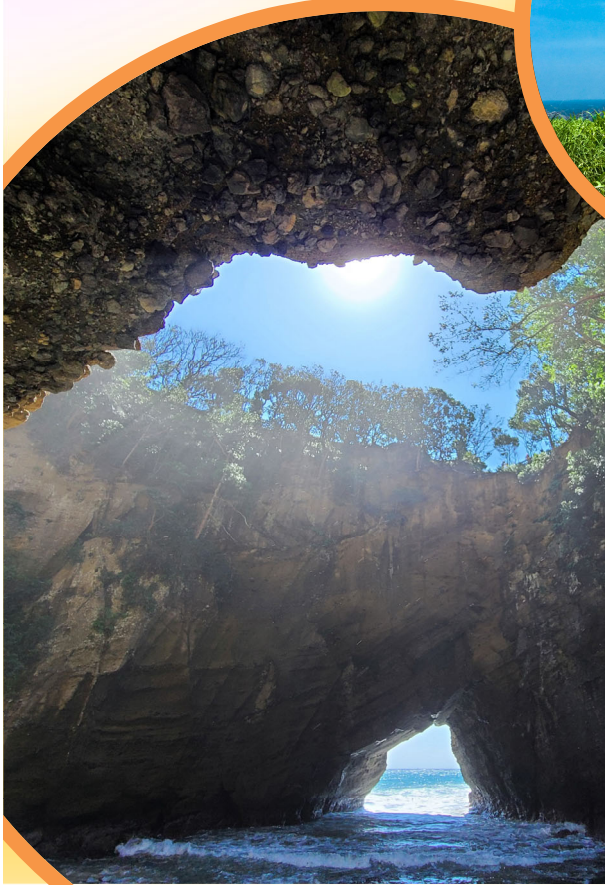
新しい道、
できます。



かわづちょう
河津町



しもだし
下田市



IZU

